

平成24年度 事業計画

I 会員の生活を豊かにする活動

【公1】 第37次岡山県老人福祉大学

- ・会場：岡山、倉敷、津山、高梁
- ・期間：6月～11月
- ・受講生：約900名（会員と一般高齢者）
- ・テーマ：（予定）
 - ・法話
 - ・健康づくり講座（緩和ケア）
 - ・郷土の歴史と文化（民話）
 - ・時事問題
 - ・老後の雑学（民俗学）

【公2】健康づくり支援事業

（1）県老連健康づくり推進委員会の開催

老連の行う健康づくり活動の支援・啓発について専門家を交え研究・協議し、方向性を示す。

- ・健康づくり推進委員会 委員19名 年1回開催

（2）健康づくり・介護予防まちづくり事業

これまでの成果を踏まえ、単位クラブでの健康づくり・介護予防活動を一層進めるとともに、地域の高齢者、地域住民へも活動の輪を広げ、地域の高齢者が健康で自立した生活を送り、安心して暮らせるまちづくりを目指し、健康づくり・介護予防まちづくり事業を実施する。

① 県老連

- ・健康づくり中央セミナー報告会 年1回
- ・事業報告会の開催 年1回
- ・健康づくり・介護予防リーダー養成講習会
 - 養成：100人（モデル事業実施老連、その他老連）
 - 講座：健康づくり・介護予防に必要な専門的な知識、技術等の研修
 - 認定：講座修了者へ県老連会長から「修了証」交付

- ・全老連健康づくり中央セミナーへの派遣 1～2名（神奈川県葉山市）
- ・助成 1老連 5万円（継続5 新規5）

② 市町村老連

- ・健康づくり・介護予防まちづくり事業

モデル老連を指定して行うが、活動の中心は単位クラブであり、老連は単位クラブでの活動が円滑に行われるための研修、リーダー養成、体力測定など各種イベント開催の指導。

実施主体：モデル市町村（地域、地区）老連

実施箇所：《継続》5老連まで 《新規》5老連

③ 単位クラブ

・健康づくり・介護予防に関する「学習」「実践」「点検」活動を、市町村老連と連携しながら、年間を通じて継続的に実施。

・活動にあたっては、クラブ会員のほか地域の高齢者、住民の積極的な参加を呼びかける。

※地域住民一般高齢者も対象とし、介護予防の輪を広げる

(活動例)

学 習

- ・高齢者の健康管理、高齢者に多い病気とその予防等（歯、認知症、薬）

実 践

- ・栄養（高齢者の食生活、料理教室）
- ・運動（グラウンドゴルフ、ラジオ体操、いきいきクラブ体操、ウォーキング）
- ・休養（趣味、レクリエーション）

点 検

- ・健康診断
- ・体力測定 ※ 体力測定用具一式 貸出し

(3) 老人福祉大学での健康講座（再掲）

- ・開催場所：4会場（岡山、倉敷、高梁、津山）受講生 約900人

(4) ① 岡山県高齢者グラウンドゴルフ大会

高齢者の健康の保持・増進、生きがいつくりの高揚を図るとともに競技を通じて参加者相互の親睦を図りお互いの絆を深める。

- ・開催地：岡山ドーム
- ・開催時期：11月30日（金）
- ・参加対象者：各市町村老連選抜メンバー、一般高齢者 380名

- ・実行委員会 : 委員6～10名程度で組織

(5) ⑧健康づくり支援事業「チャレンジ！地域の元気づくり事業」

一般高齢者（非会員）を巻き込んだ活動や地域づくりに視点をおいた取り組みについてこれまでの活動のリニューアル化により、地域の元気づくりに挑戦（チャレンジ）する連合会を支援する。

（実施モデル老人クラブ連合会）

- ・実施数 : 7市町村老連
※市町村老連での実施は原則1ヶ所
- ・事業費 : 1ヶ所あたり10万円
※1ヶ所10万円×4ヶ所（みずほ教育福祉財団助成）
1か所10万円×3か所（県老連助成）
- ・事業内容 : (1) 一般高齢者を含めた健康づくり介護予防事業
(2) 世代間交流事業
※既存事業及び他の事業との併用は対象外

(6) 資材・教材等普及事業

老人クラブの実施する事業の適正化のため老人クラブ手帳、老人クラブ活動日誌、老人クラブ会計簿等の普及に努める。

II 地域を豊かにする社会活動

【公3】 地域福祉支援活動推進事業

(1) 次世代育成支援事業

① 県老連

- ・次世代育成支援リーダー養成講習会（女性委員会幹事会と同日）年1回開催
- ・事業報告会 年1回（報告書作成）

② 市町村老連

- ・実施箇所 : 市町村（地域、地区）老連及び地域高齢者組織等 6か所
- ・補助対象事業例 : 見守り活動、安全パトロール、世代間交流、子育て相談など
- ・補助額 : 1ヶ所あたり5万円以内・単年補助

(2) 在宅福祉を支える友愛活動

- 在宅福祉を支える友愛活動セミナー派遣

参加者 1～2名（東京都・全社協会議室）

○友愛活動（シルバー基金事業）

- ・実施箇所：市町村（地域、地区）老連及び地域高齢者組織等
4ヶ所
- ・補助対象事業例：虚弱、ひとり暮らし、認知症の仲間を支える友愛活動、友愛介護訪問、給食サービス、孤独死・高齢者虐待の防止、地域高齢者の声かけ運動など
- ・補助額：1ヶ所あたり5万円以内・単年補助
- ・事業報告会：年1回（報告書作成）

（3）高齢者の安全・安心を支える活動

高齢者の暮らし安全、安心を守るため交通安全活動、悪質商法対策等防犯安全対策を推進する。

- ・ **高齢者の交通安全対策**

高齢者が交通事故にあわないようにするため、交通安全講習会等機会あるごとに安全意識の徹底をはかる。

- ・ **悪質商法等防犯安全対策**

悪質商法など高齢者の消費者トラブル防止のための啓発活動

（4）全国一斉「社会奉仕の日」～きれいな地球を子どもたちへ～の推進

- ・ 9月20日全国一斉「社会奉仕の日」の取り組みと通年活動の推進。
- ・ 花のあるまち ゴミのないまち運動、花いっぱい運動など

Ⅲ 組織・運営体制の確立

1 老人クラブ指導者の育成

地域を基礎とする高齢者の自主的組織である老人クラブにおいて、会員本位の自主的かつ民主的な運営が行われ、魅力あるクラブ活動となるよう、老人クラブ指導者等の育成研修を行う。

【公4】 研修会事業

（1）高齢者地域リーダー研修会

- ・ テーマ：魅力あるクラブ運営・クラブ活動への取り組みとリーダーの役割など

- ・実施時期 : 6月～9月 (予定)
- ・会場 : 6会場 (岡山、倉敷、津山、高梁、東備、美作) 800名
- ・受講対象 : 原則、単位クラブの会長、副会長と単位クラブの指導者として期待される者
市町村老連事務担当者、関係機関、高齢者団体のリーダー
- 第30回 都道府県・指定都市老連中央セミナー
(6月7日(木)～8日(金) 東京・全社協会議室)
参加者 1～2名程度
- 第41回 全国老人クラブ大会 (創立50周年記念大会)
10月4日(木) 東京都 日比谷公会堂
- 中国ブロック県・指定都市老連連絡協議会
4月24日(火) 島根県松江市

(2) 女性リーダー研修会

- ・テーマ : 会員の7割を占める女性会員が「心と体の健康づくり」をはじめ加入促進について、どのように女性ならではの活動を行えば、老人クラブ活動全般が活性化するかなどにつき討議・研修を行う。
- ・会場 : 3会場 (岡山、倉敷、津山)
- ・受講対象 : 市町村老連における女性リーダー200名
- 第24回全老連女性リーダーセミナー
(11月8日(木)～9日(金) 東京・全社協会議室)
参加者女性委員長他1名
- 全老連女性委員会総会
(5月22日(火)、11月9日(金) 東京都・全社協会議室)

【公5】 創立50周年記念式典及び第49回岡山県老人クラブ大会

- ・10月18日(木) 岡山市民会館
- ・参加者1,500名
第1部 式典
第2部 講演
- ※長寿科学振興財団と共催
- ・創立50周年記念特別表彰
- ・岡山県知事表彰、保健福祉部長表彰
- ・県老連会長表彰 (老人クラブ運営功労者、運営協力者、優良老人クラブ)
- ・山陽新聞社会事業団理事長感謝状

【他1】 老人クラブ活動推進事業

(1) 会員加入促進事業

○ 県老連

会員加入促進委員会の開催

委員 13名 年1回開催予定

- ・運動の成果分析及び運動方針の検討
- ・平成24年度スローガン

“楽しい活動で仲間を増やそう” 運動への取組み

- ・会員加入促進モデル単位クラブ表彰
- ・優良事例の紹介（研修会等で事例紹介）

○ 市町村老連単位クラブ等における会員加入促進体制の確立

- ・「会員加入促進委員会」未設置の市町村老連（地域・地区）での委員会立ち上げ促進

- ・地域性に応じた会員加入運動の展開

（例）市町村老連の「会員加入促進委員会」での検討事項

- ・実施期間、目標の設定

未加入会員の掘り起こし、団塊世代の取り込み

（グラウンドゴルフ、ウォーキングなどクラブ行事への参加呼びかけ）

- ・休眠クラブ、解散クラブの対策など

- ・魅力あるクラブ活動の取組み

新しい会員を増やすためには、会員加入の働きかけと同時に、今の会員が満足できるクラブづくり、魅力あるクラブづくりが必要である。

地域特性とクラブの実態に応じた、男女が共同参画できる会員にやさしいクラブづくり、開かれたクラブへの取組みが求められる。

- ・女性、若手リーダーの養成と組織化、役員登用
- ・会員にやさしいクラブ、開かれたクラブへの取組み検討
- ・老人クラブの愛称検討など

（参 考）全老連 老人クラブ加入促進マニュアル「仲間さがし9つの秘訣」より

◎ 加入したくなるクラブのあり方

ア) 組織活性化の課題

- ・若手高齢者の組織化
- ・クラブの若返り
- ・名前だけの会員の参加促進
- ・マンネリ打破（新しい活動の開拓）
- ・町内会など他団体との連携、交流 など

イ) 会員にやさしいクラブ

- ・出席できない会員への配慮
- ・会員の希望の把握、実行
- ・新入会員を暖かく迎える

ウ) 開かれたクラブ

町内会など地域のいろいろな組織・団体との連携を図り、必要に応じクラブ活動に参加・協力を求めるなど

- ・男女が共同参画する組織・活動づくりの推進
 - ・高年・若手・女性のバランスのとれた役員構成の推進（老人クラブ「21世紀プラン」目標13）
 - ・若手高齢者、女性会員の活力が発揮できる場づくり（若手委員会の立ち上げ）
- ・女性会員によるクラブ活性化（再掲）
 - ・女性委員会を中心とした女性組織の活性化への取り組み
 - ・女性委員会の自主的運営による女性リーダー研修会の充実
会場：岡山、倉敷、津山
開催時期：12月
 - ・市町村老連、単位クラブでの女性役員の登用促進
- ・いきいき生活応援優待利用証「楽・楽カード」の活用
会員に制度内容、趣旨を徹底しカードの利用を促進するとともに加入促進へつなげる。

（2）全老連会長表彰

1) 表彰

○ 全国老人クラブ大会（創立50周年記念大会）表彰（再掲）

10月4日（木） 東京都 日比谷公会堂

- ・厚生労働大臣表彰
- ・全老連会長表彰

老人クラブ育成功労表彰

優良老人クラブ表彰

活動賞（全老連会長表彰）

「仲間づくり活動部門」 加入促進の優良取り組み（老連、単位クラブ）

「健康づくり活動部門」 会員、地域の高齢者への健康づくり・介護予防活動の優良取り組み（老連、単位クラブ）

「ボランティア活動部門」

* 推薦枠 各部門ごと1県あたり3団体

- ・ 創立50周年記念厚生労働大臣表彰1県あたり2名程度 2クラブ

(3) 広報活動

- ・ 機関紙「おかやま県老連だより『山紫水明』」の発行
年2回 50,000部/回
- ・ 県老連ホームページの充実等情報公開
- ・ 高齢者地域リーダー研修、老人福祉大学、老人クラブ大会などあらゆる機会を利用して広報活動（優良事例の紹介）をおこなう

(4) 調査研究

(5) 全老連関係諸会議

- ・ 全老連評議員会
- ・ 都道府県指定都市老連会長会議
- ・ " 事務局長会議

(6) 市町村老連正・副会長会議

県下市町村老連の正副会長が一堂に会し、今日にふさわしい適切な活動と運営をいかに行うか等当面の課題につき研修、討議し、情報交換を行う。

- ・ 期日 : 25年1月 (1泊2日)
- ・ 場所 : 岡山市北区菅野「レスパール藤ヶ鳴」

(7) 中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会

- ・ 7月5日(木)～6日(金) (徳島県 鳴門市)
- ・ 参加人員 : 約20名
- ・ 内容 : 基調報告 分科会 (4分科会) 活動事例発表

(8) 市町村老連事務担当者会議

(9) 正・副会長会議

(10) 各種負担金

（法人運営・管理）

＜新公益法財団法人移行＞

県老連は、平成24年3月21日岡山県知事より公益認定を受け、4月1日より公益財団法人に移行する。

＜行政等関係機関、市町村老連、その他団体との連携＞

老人クラブ活動を円滑に推進するうえで、市町村行政、地域包括支援センターや社協、医師会、自治会連合会など関係機関団体との連携は重要である。

これら関係機関等とは、日ごろから連携をとり、活動への積極的な支援を得ながらすすめる。

＜情報公開への取り組み＞

監事に税理士を選任するなど、業務運営の透明化、適正化、積極的な情報公開に努める。

- ・県老連ホームページの充実

【法1】 法人運営・管理

（1）評議員会

（2）理事会

（3）監査会（含シルバー基金監査）

【法2】 運営委員会の開催

（1）シルバー基金運営委員会

- ・基金の有効活用についての研究
- ・基金の適正管理

【法3】 創立50周年記念事業

（1）創立50周年記念式典及び第49回岡山県老人クラブ大会（再掲）

（2）記念誌の作成

（3）愛称募集

【法4】 若手委員会